

サラマンカ大との交流促進合意 岐阜大と薬科大、スペインで調印

来年創立八百周年を迎えるスペインのサラマンカ大で九日（現地時間）、同大と岐阜大、岐阜薬科大の三大学が、合同学術シンポジウムの開催や伊吹山の薬草の文献調査などを盛り込んだ合意書を交わしたと、県が発表した。欧州訪問中の古田肇知事も立ち合った。

白川町のパイプオルガン製造者、故辻宏さんが一九九〇年に現地の大聖堂のオルガンを修復したのがきっかけで、県とサラマンカ市は交流を始めた。合意を受け、薬草に関する文献を多く所蔵するサ大と、県内の医学・薬学の学術交流を、より促進させる。

各大学の代表者らが合意書に署名。サ大のダニエル・エルナンデス・ルイベレス総長は「大学間での強い絆を構築したい」と力を込めた。

古田知事は県内で来年、サ大の創立八百周年を記念した三大学連携の学術シンポジウムとコンサートが開かれることに触れ「県とサラマンカの友好関係を一層深化させたい」と述べた。ルイベレス総長は「記念事業に全面的に協力する」と応じていた。

（兼村優希）



握手を交わす3大学の代表者と古田知事（右）＝スペイン・サラマンカ市で（県提供）

岐阜新聞 Web版 2017年11月11日

岐阜大・岐阜薬科大がサラマンカ大と学術連携へ合意

2017年11月11日09:11

【サラマンカ=本社・河合修】岐阜大、岐阜薬科大は9日（現地時間）、来年で創立800周年を迎えるスペイン・サラマンカ市のサラマンカ大との学術協定締結に向け、定期的な学術シンポジウムを開く基本合意書を結んだ。同日、岐阜大、岐阜薬科大の両副学長がサラマンカ大で調印を交わした。スペイン訪問中の古田肇知事も立ち会った。



古田肇知事（右）立ち会いの下、基本合意書を結んだ（左から）原英彰副学長、鈴木文昭副学長、エルナンデス総長＝スペイン・サラマンカ市、サラマンカ大

◆定期シンポ、文献調査も

サラマンカ大は、英国のオックスフォード大、フランスのパリ大、イタリアのボローニャ大と並び、欧州で最も古い大学の一つ。サラマンカ大が800周年に合わせ、サラマンカ市と交流のある岐阜県の大学との交流を打診していた。

合意書では、今後の学術連携に向けたシンポジウムの定期開催のほか、薬学に関する文献調査を進める。第1回のシンポジウムは、来年4月に岐阜市で開催。同時期にサラマンカ大創立800周年記念コンサートを同市のサラマンカホールで開く。いずれもサラマンカ大の関係者が来日する。

合意書締結の場には、岐阜大の鈴木文昭副学長、岐阜薬科大の原英彰副学長、サラマンカ大のダニエル・エルナンデス・ルイベス総長が出席。

岐阜大はがんなどの医学、岐阜薬科大は伊吹山の薬草起源の文献調査についてそれぞれ連携を求め、エルナンデス総長は「大学間での強い絆を構築したい」と話していた。

学術連携

関連ニュースはこちら >

岐阜大、岐阜薬科大とスペイン・サラマンカ大が合意 /岐阜

毎日新聞 2017年11月11日 地方版

大学 >

岐阜県 >

大学関連ニュース >

教育 >

岐阜大、岐阜薬科大、スペイン・サラマンカ大は9日、合同学術シンポジウムの継続開催と伊吹山の薬草起源の文献調査実施で基本合意した。欧州でトップセールス中の古田肇知事が立ち会った。

サラマンカ大を訪問した岐阜大の鈴木文昭副学長、岐阜薬科大の原英彰副学長が、サラマンカ大のダニエル・エルナンデス・レイベレス総長と合意した。

来年4月には岐阜市で「サラマンカ大800周年記念事業」（実行委主催）を開催予定。古田知事から出席を促されたレイベレス総長は「全面的に協力する。12月に決まる次期総長に出席するよう引き継ぐ」と応じた。

知事ら一行はこの日、県立コンサートホール「サラマンカホール」（岐阜市）の名前の由来にもなっている、白川町に工房を構えたオルガン建造家の故・辻宏氏が修復を手掛けたサラマンカ大聖堂のパイプオルガンも視察した。

【岡正勝】

